

指定管理業務実績報告書

平成 30 年 4 月 日

神奈川県知事 殿

株式会社湘南なぎさパーク
代表取締役社長 水田 豊人

湘南港の管理に関する基本協定書第 41 条第 2 項の規定に基づき、次のとおり平成 29 年度に係る指定管理業務実績報告書を提出いたします。

記

1 湘南港事業実績報告書

(1) 業務の運営に係る総括

ハイシーズンに 2 つの大型ワールドレースが開催され、相当数の海外選手を迎えるにあたり、湘南港の指定管理者として、これまでの実績と経験を活かし、既存の湘南港利用者と海外選手の融合を図りつつ、指定管理業務を適切に実施するため、より一層のサービス向上と経費節減に努め、提案書に掲げた基本理念である「海と安全に親しめる美しい湘南港」の実現に取り組みました。

ア 組織体制

湘南港の指定管理業務を行う湘南港管理部については、6 月～8 月の繁忙期に臨時社員を配置、また今年度は 9 月も大型国際レースの受入れ等に対応するため、自主事業で 1 名を臨時配置し、提案書で計画した組織体制以上で指定管理業務を推進いたしました。

イ 内部管理体制

- ① 施設利用申請における申請書の内容、貼付証紙等について、常に複数者によるチェックを行うとともに、現金については業務終了時の他、取扱い金額・件数の多い土日祝祭日には中間に 1～2 回、レジスター内に収納した現金の確認を行い、証紙についても業務終了時に必ず在庫確認を行い、事故防止に努めました。
- ② ローテーションによる勤務体制から生じる情報伝達、引き継ぎ事項の齟齬がないよう、毎朝始業時に合わせ管理部で共通に認識すべき事項の伝達、引継ぎを行うと共に、各種相談業務や施設の巡視・巡回、環境整備等の実施に当たっては、管理、ポートサービス担当のセクションに捉われることなく、社員が一体的認識をもって業務を推進いたしました。

ウ 社員研修

管理業務、ポートサービス業務共に、業務上必要な技術習得のための免許取得に支援を行うとともに、利用者対応のための手話研修を行い、全社員が受講いたしました。また、ベテラン社員から経験の浅い社員に対して、日常業務を実践しながら、オンザジョブトレーニングを行い、早期に戦力となるよう指導を行っています。

エ 業務合理化等

より質の高い指定管理業務の推進をめざして、業務の合理化、経費の削減を図りました。また、東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技の会場が江の島に決定されたことに伴い、多くの外国人選手や関係者の来港を想定し、事前に整備した英語版のパンフレットや利用者案内、各種届出用紙等により、今年度のワールドレース開催時もスムーズな対応を行い、サービスの向上を図りました。

(2) ヨットハーバー業務に係る総括

ア 利用承認業務

- ① 最も重要かつ基本的な業務であることから、利用承認申請書の内容チェック、証紙確認等は複数の眼で行うなど、遺漏のないように事務を執行しています。
- ② 利用承認期限が満了となる利用者に更新の案内を行うとともに、承認期限を経過しても更新手続きが未了の者に対しては速やかに催告、通知を行い、適正な利用が行われるよう努めています。
- ③ 学生団体の利用料減免申請にあたっては、所定の手続きを適切に行い、ルールを遵守するよう指導しています。

イ 安全管理等サービス業務

電子カードによる「出艇管理システム」、臨時利用者の出港届及び帰着確認で施設利用者の安全確保を行っています。

(3) 維持管理業務に関する総括

ア 施設維持管理業務

- ① 新ヨットハウスについては、2 階ホール等の床面が滑り防止構造（粗め加工床材）であることから、汚れが浸み込んでとれないこと、シャワー・ロッカー室の水はけ・換気が悪いこと、シャワー利用の公平性や手続の煩雑さを解消するためコインシャワーの設置が必要であること、雨の日には屋根に降った雨水が出入り口近くに滴のように落ちるなどの様々な課題があります。また、自動販売機の台数や種類が不足していると言った利用者からの意見も多数寄せられています。
- ② 2 階ホールの貸出しでは、会議室の使用の際大音量の音楽を流す利用団体が増え 1

階まで音が響いて他の利用者から苦情等もあることから、土木事務所と協議の結果、「利用上の注意及び遵守事項」を定め他の利用者には迷惑をかけない節度ある使用をお願いしています。

- ③ 8月に起こったトラック接触のための中央ゲート破損により、10月初旬の修理完了までの間、特に繁忙期のセキュリティ確保に留意し、利用者の安心・安全を確保いたしました。
- ④ 利用者が安心して快適にトイレを利用できるよう、便座クリーナーをハウス内各トイレの個室毎に設置いたしました。
- ⑤ ヨットハウスから休憩棟への通路に段差ができ、雨水が溜まり歩きづらくなっていたため、簡易舗装を行い、スムーズな導線を確認いたしました。
- ⑥ 複数回のワールドレースが開催されたことに伴い、大会運営や外国人選手の利便を図るため、開催期間中ヨットハウス全域を網羅するWi-Fiを自主事業で増設いたしました。
- ⑦ ワールドレースの開催期間中の休港日は、大会運営の滞りがないうよう、自主事業でレース対応のための臨時営業をいたしました。
- ⑧ 景観、安全の確保の観点から、センタープロムナードの松の剪定を行いました。
- ⑨ 従前から県に改修を要望している、センタープロムナード北側ウッドデッキの老朽化による段差箇所について、安全面での懸念が生じるため、段差付近に三角コーンを設置するなど、注意喚起のための応急的な対応をいたしました。

イ 駐車場管理業務

夏季は平日においても駐車場利用が多いため、7月15日（土）から8月31日（木）の期間は駐車場担当者を1名増員して対応いたしました。

また、10月に発生した大型台風の被害による臨港道路附属駐車場の閉鎖に伴う利用者の不便を解消するため、弊社が新たに設置した江の島かもめ駐車場を経由して臨港道路附属駐車場の一部が利用できる暫定対応を実施（11月～3月）し、利用者の利便向上を図りました。

ウ 災害時対応業務等

- ① 地震・津波等の発生時には、弊社が作成した「災害時行動マニュアル」に則った対応を行うこととして、災害発生に備えています。

- ② 台風等により施設被害が予測される場合は、「災害時行動マニュアル」に基づく予防行為として、職員による場内点検を強化し、陸置艇、係留艇のロープ補強等を行うなど被害の防止に努めるとともに、大型の台風等により強風が予測されたケースでは状況改善まで職員が待機し、不測の事態に備えました。

(4) 附帯事業等に係る総括

提案事業

- ①利用者利便事業として、レンタル自転車を設置し、前年度利用料は「神奈川海岸美化財団」に寄付しています。
- ②オリジナル商品の前年度売上の一部は「青い羽根共同募金」に寄付しています。
- ③東京 2020 公式グッズの販売資格を取得し、オリンピックムードを高めるとともに、ワールドレースで来日している各国選手からも好評を博しています。

(5) 開かれた港湾に向けての取組に係る総括

ア 開かれた港湾に向けたイベント実施結果

- ① 関係団体、NPO法人等が実施するイベントについて、その内容が開かれた港湾に向けて資するものについては、できるかぎり協力しています。
特にNPO法人セイラビリティ江の島と連携し、障がいの有無や年齢に関わらず安心して乗船できるハンザクラスのヨットを使用する体験乗船を実施しています。
- ② 江の島（湘南港）みなとまちづくり協議会主催の、ハーバーフェスティバルや江の島天王祭の神輿海上渡御を海から見るイベントには、今年度も体験乗船の抽選や当日の事務局として積極的に携わり、また実施にあたり、弊社レスキュー艇による体験乗船や観覧艇の運行などの協力をしました。
- ③ かながわシープロジェクト「Feel SHONAN」の一環である「Enjoy 海 KANAGAWA」に積極的に参加し、帆船「やまゆり」の乗船体験やハンザクラスディンギーの体験乗船、ロープワーク体験等を、7月、9月、10月に行いました。
- ④ 昨年度設立した、東京 2020.オリンピック競技大会のセーリング競技会場周辺を花と緑で飾り、世界中から訪れる人々を歓迎するための、ボランティア団体である「なぎさフラワーサポーター」による植栽事業は定着し、花壇等実りをあげ、来港者へのおもてなしに貢献しています。

イ 利用促進・広報

以下のとおり積極的に利用促進と広報に努めています。

- ① 江の島ヨットハーバーを会場とする主要なヨットレース大会を後援、協賛するとともに、優勝杯（SNP杯）を贈呈する等、ヨット活動の振興とハーバーの利用促進に

努めています。

- ② 江の島ヨットハーバーのホームページで出艇状況や気象情報を提供するなど、広報に努めています。また、気象・緊急情報などをリアルタイムで利用者に発信する「メーリングサービス」を提供しています。
- ③ ヨットハーバー、緑地等における撮影の利用希望が多々あります。湘南港の広報にも資することから、藤沢市フィルムコミッションと連携して、施設利用者の個人情報保護に配慮しつつ、受け入れを進めています。

2 指定管理料等執行状況報告書
別添のとおりです。

